

第3章 2026年度事業計画

概要	-----	42
1 活動計画	-----	42
2 会議・会合	-----	44
3 粉体工業展	-----	45
4 常置委員会	-----	45
5 分科会	-----	49
6 粉体工業技術センター	-----	56
7 技術情報交流懇話会	-----	57
8 共催・協賛及び後援行事	-----	57
9 刊行物	-----	57

第3章 2026年度事業計画

自 2026年4月1日

至 2027年3月31日

概要

我が国の2026年度の景気は、基調として、雇用環境の良好さなどを背景に、緩やかな回復が続くと見込まれます。一方で、物価上昇が個人消費に与える影響や人手不足の継続に加え、海外景気の減速懸念や中東情勢の不安定化などが下振れ要因となっており、先行きについては不確実性の高い状況が続くと考えられます。

このような状況下、当協会では「2025～2027年度 第4期中期運営計画」に基づき、引き続き以下の重点活動目標を掲げています。

1. 会員企業の満足度向上(分科会、各種セミナー、POWTEXの進化など)
2. 協会知名度の向上(広報普及活動の強化など)
3. 運営の強化(組織および人材など)

本年度は第4期中期運営計画の2年目として、これらの目標を基本にした活動を行い、当協会の目的である「粉体に関する鉱工業技術開発および普及を通じて粉体関連工業の発展を図り、もってわが国経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与する」ことを目指しています。

1. 活動計画

1-1 調査・研究事業(分科会、分科会運営、技術)

分科会活動は協会活動の中核を担っており、各分科会では、粉体技術の発展および普及に資するため、産学官の連携のもと、産業界への貢献に向けた活動を推進していきます。分科会運営委員会は、各分科会の運営上の課題に対応しつつ、その運営支援を通じて、分科会活動の基盤強化を図っていきます。

技術委員会では、AI技術利用委員会が今年設立6年目を迎え、新たな視点を加えた第2期活動を開始します。今後も、産業界での利用拡大に資する実用化事例などを主体とし、収集された情報は、POWTEXの「AI技術利用セミナー」で公開していきます。また、AI技術の企業内活用や人材育成のための機会提供を推進します。

1-2 広報・普及事業(総務、「粉体技術」誌編集、産学官連携、総覧発行、セミナー・フォーラム)

(1) セミナー・フォーラム

POWTEX2026の併催行事として、PXフォーラム、各種セミナー、粉体機器ガイダンスなどを開催します。PXフォーラム、粉体工学入門セミナー、粉体機器ガイダンス、海外情報セミナー、粉じん爆発情報セミナー、AI技術利用セミナー、粒子径計測入門セミナーなど、多彩なテーマを用意し技術情報の提供や協会活動の広報・普及に努めます。

(2) 技術情報の発信

「粉体技術」誌は、粉体関連技術の情報発信誌として、様々な特集・企画記事などを通じて、会員に対して技術啓発、広報の役割を果たしていきます。また、一般購読者に対しても協会事業および活動の認知を図っていきます。

協会ホームページについては、継続的に改善を行っていきます。また、メールマガジンは、本体のコンテンツ、デザインなどの刷新を進めます。

(3) 産学官連携

POWTEX2026の併催行事として、大学や公的研究機関と連携し、粉体工学入門セミナー、粉体機器ガイダンス、最新情報フォーラム、PXシーズ賞受賞記念特別講演会、テクノマルシェを開催する予定としています。また、粉体に関する若手研究者の研究奨励、関連企業への情報提供および産学連携の基盤づくりを目的に、「アカデミックコーナー」を設置します。

(4) 技術相談

POWTEX2026 では、「技術相談コーナー」を開設し、大学や公的研究機関の研究者が企業からの技術相談に応じます。産学技術交流推進部門では、常時ホームページ上で協会内外からの粉体技術に関する相談を受付けており、企業からの問合せを大学や研究機関へ橋渡しする役目を果たしていきます。

(5) 粉体技術総覧 2026/2027 の発行

POWTEX2026 に合わせて、粉体関連機器や技術に関するガイドブック「粉体技術総覧 2026/2027」を発行し、展示会場にて無料で配布します。キーワードで製品やメーカーを検索できる WEB 版も引き続き開設します。

1-3 人材育成・教育事業(教育部門)

2026 年度は、新設する粉体基礎講座をはじめ、粉体入門セミナー、粉体技術者養成講座などを中心に以下の講座、セミナーの開催を予定しています。

- ・粉体入門セミナー(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)
- ・粉体基礎講座(新講座、7月より開講)
- ・粉体技術者養成講座(7講座)
- ・粉体技術専門講座(粉砕分科会)
- ・粉じん爆発・火災安全研修(初級基礎編)【ハイブリッド】
- ・粉じん爆発・火災安全研修(中級技術編)【ハイブリッド】

1-4 規格・標準化事業(標準粉体、規格、粉じん爆発)

・標準粉体委員会

- 1) JIS 粒子径測定装置検定用粒子 MBP3—30 の製造及び標準物質認証書の作成
- 2) JISZ8901標準物質 1 ラウンドロビンテスト
- 3) SAP 試験用粉体のJIS化の検討
- 4) JIS 試験用粉体 1—8 種関東ローム JIS 相当品化の検討

・規格委員会

協会規格および JIS の定期見直しを引き続き行います。継続案件 3 件については、JIS 原案を日本規格協会へ提出します。また、新規 3 件の JIS 原案作成委員会を設置します。さらに、規格・標準化の広報・啓発活動として、新規制定された規格などを紹介するセミナーを開催します。

・粒子特性評価委員会

経済産業省委託事業として契約を継続し、粒子特性評価に関する ISO 規格開発活動を行います。また、第 70 回 ISO/TC 24/SC4 国際会議を大阪にて開催(5月)いたします。

・ふるい委員会

ISO/TC24/SC8 国内審議団体として、ふるいに関する ISO 国際標準化活動に参加し、規格文書の円滑な作成に向けた活動を行います。

・集じん技術委員会

経済産業省委託事業として契約を継続し、粉じん爆発委員会、集じん分科会の協力のもと、「ろ布の静電特性試験方法」の承認に向けた ISO 規格開発活動を行います。

・粉じん爆発委員会

粉じん爆発・火災安全研修(初級/基礎編)および(中級/技術編)を実施します。また、POWTEX2026 の併催行事である粉じん爆発情報セミナーを実施します。

1-5 海外交流事業(海外交流)

海外情報セミナーを POWTEX2026 にて開催し、医薬関連(連続生産システム)について日本・アジア・欧州から講演者を招く計画です。海外展示会については、KOREA CHEM(韓国)、IPB 2026(上海)、POWTECH TECHNOPHARM 2026(ドイツ)と相互協力契約に基づいてブース出展や共同出展を実施します。

1-6 展示会事業

POWTEX2026 を、11月25日(水)～27日(金)に東京ビッグサイトで開催します。従来のオンライン展に代わり、「オンライン紹介」を導入し、出展情報の閲覧や問い合わせ機能を強化します。PX フォーラムや各種セミ

ナーなどの併催行事を継続しつつ、特別展示では対象領域を拡大し「粉体・関連材料ゾーン」の刷新や「電池製造ゾーン」を新設します。さらに、出展企業の採用情報コーナーを新設し、人材確保の機会を提供します。加えて、学生向けに粉体産業への理解促進と企業交流を目的とした企画を試行的に実施し、人材との接点創出を図ります。

1-7 標準粉体製造頒布事業(製造事業部門)

今期の売上は昨年度と同程度を見込んでいます。各産業界の発展に貢献できるよう今後も業務効率化を図りながら事業を進めていきます。また標準粉体委員会と連携して、MBP3-30 の認証書作成のサポートや JIS 試験用粉体 1-8 種 JIS 相当品の検討を行います。

1-8 会員共益事業(技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成)

以下の活動を通じて、会員相互の親睦と技術情報交流、人脈形成などの促進を図ります。

- ・技術情報交流懇話会：火曜会(東京 4 回)、水曜会(名古屋 3 回)、木曜会(大阪 3 回)、金曜会(福岡 2 回・広島 1 回)を開催します。
- ・推薦審査委員会：分科会功労賞、分科会技術賞、委員会・部門功労賞、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者賞の審査・推薦および個人会員・名誉個人会員・会友の入会審査を行います。
- ・人材育成委員会：「若手のつどい」を 3 回開催します。また、POWTEX2026 に併せ、学生ツアーの企画・運営を行います。

2. 会議・会合

2.1 第 45 回定時総会

開催日時：2026 年 5 月 26 日(火) 13:00
場 所：東京/東京ガーデンパレス

2.2 理事会

	開催日時		開催場所
第 1 回	2026 年 5 月 14 日(木)	14:00	大阪/大阪ガーデンパレス
第 2 回	2026 年 5 月 26 日(火)	14:30	東京/東京ガーデンパレス
第 3 回	2026 年 8 月 4 日(火)	14:00	東京/東京ガーデンパレス
第 4 回	2026 年 11 月 19 日(木)	12:30	京都/ホテルグランヴィア京都
第 5 回	2027 年 3 月 18 日(木)	14:00	京都/ホテルグランヴィア京都

2.3 諮問会議

	開催日時		開催場所
第 1 回	2026 年 4 月 21 日(火)	14:00	東京/種苗会館会議室
第 2 回	2026 年 7 月 14 日(火)	14:00	東京/東京ガーデンパレス
第 3 回	2026 年 10 月 28 日(水)	14:00	名古屋/名古屋クラウンホテル
第 4 回	2027 年 2 月 25 日(木)	14:00	東京/種苗会館会議室

2.4 定例会合

	開催日時	開催場所
秋期定例会合	2026 年 11 月 19 日(木) 15:00	京都/ホテルグランヴィア京都

2.5 分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議

分科会連絡会議	2027 年 1 月 29 日(金) 13:00	名古屋/名古屋クラウンホテル
委員会・部門連絡会議	2027 年 1 月 30 日(土) 9:30	名古屋/名古屋クラウンホテル

2.6 委員長連絡会

2026 年 9 月 10 日(木) 13:30 大阪/大阪ガーデンパレス

3. 粉体工業展

3.1 POWTEX®2026(国際粉体工業展東京)の開催

11月25日(水)から11月27日(金)までの3日間、POWTEX®2026(第46回国際粉体工業展)を開催する。オンライン施策として、従来のオンライン展に代わる新たな「オンライン紹介」を会期前より公開し、出展内容の閲覧や各種情報発信、問い合わせ機能等を通じて来場前からの接点強化を図る。併せて、多様な併催企画を計画し、来場者にとって付加価値の高い展示会となるよう準備を進めている。特別展示ゾーンでは、既存ゾーンの拡充に加え、新たな分野を取り入れた構成とし、展示内容の充実を図る。さらに、出展企業の採用情報を紹介するコーナーを新設し、人材確保の機会創出にも寄与する。加えて、大学生を対象とした産業理解促進および企業交流企画を試行的に実施し、将来の人材育成と企業間の連携強化を目指す。また、今回も「粉体技術総覧 2026/2027」を制作し、会場にて配布する。

【開催概要】

会期:2026年11月25日(水)~27日(金)9:30~17:00

会場:東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

【出展対象技術・製品】

粉粒体製造機器/粉粒体計測機器/研究室用機器・ラボ機/受託加工・受託計測/シミュレーション・ソフト/粉体材料

【特別展示ゾーン】

《新設》粉体・関連材料ゾーン:

ナノマテリアル/電池材料/医薬品材料/食品用材料/複合材料/材料製造法

粉体シミュレーションゾーン:

ソフトウェア/シミュレーション用物性取得/検証実験用機器

《新設》電池製造ゾーン:

電池製造装置・プロセス/セル組立・加工装置/化成・充放電・検査装置/製造環境・ユーティリティ設備

【併催行事】

PX フォーラム、粉体工学入門セミナー、粉体機器ガイダンス、海外情報セミナー、粉じん爆発情報セミナー、AI 技術利用セミナー、粒子径計測入門セミナーなど

4. 常置委員会

4.1 総務委員会 (六車嘉貢委員長、西村元樹副委員長)

委員会開催予定:3回

第3期中期運営計画に基づき以下を行う。

1) 広報改革

1)-1.メールマガジンの配信を継続し、改善について検討する。

1)-2.協会ホームページの改善について検討すると共に、引き続き更新・メンテナンスを行う。

2) 会員増強と退会防止への取組

2)-1 会員増強に向けて、「POWTEX®2026」非会員出展社に対し入会勧誘を行う。同時に、2025年度の勧誘結果を確認する。

2)-2 「協会サービス向上」アンケートの結果に基づき、改善案を引き続き検討する。

2)-3 新入会員オリエンテーション実施への協力を継続する。

3) 協会活性化

3)-1 協会のコンプライアンス規範について案の策定を目標として検討を継続する。

3)-2 「粉体技術」記事一部のホームページでの一般公開について利用状況(アクセス状況)を確認し、編集委員会に共有するとともに公開方法の改善について引き続き協議する。

3)-3 引き続き協会活性化(例えば、女性や若手会員の協会事業への参加など)を議論するとともに、より具体的なアクションにつき検討する。

4.2 組織強化委員会 (角井寿雄委員長、前田孝善副委員長)

委員会は必要に応じ開催

1)協会の発展に向けて、協会の課題を共有し検討する。また、協会会員および産業界に協会活動を理

解して頂き積極的に参画してもらうために、総務委員会など各委員会と幅広い議論を行う。

2)新入会員オリエンテーションの実施

2026年4月14日(東京)、12月10日(大阪)に開催予定。新入会員のみならず既存会員にも「レクチャー」として案内をする。総務委員会、分科会運営委員会と連携して準備を進める。

4.3 技術委員会 (牧野尚夫委員長)

委員会が必要に応じて開催する。

- 1) AI 技術利用委員会の活動を支援する。
- 2) 委員会、分科会に共通する技術的問題が生じた場合は適宜対応していく。

4.3.1 AI 技術利用委員会 (酒井幹夫委員長、島田憲成、山本浩充各副委員長)

委員会開催予定:2回、小委員会開催予定:3回

大学教員および企業の研究者の講演などを通して最新のデータサイエンスを用いたものづくりに関する知見を得る。本委員会がデータサイエンスに関するチュートリアル(講義)を主催して、協会にデータサイエンスに関する技術を浸透させ、会員企業の技術力の向上に資する。これまでの委員会活動の成果をまとめた中間報告資料を作成し、POWTEXなどで報告する予定である。

4.4 「粉体技術」編集委員会 (加納純也委員長、根本源太郎、井上義之各副委員長)

委員会開催予定:本委員会 4回、小委員会 12回

2026年度も協会会員のニーズを十分反映し、粉体関連分野に関わる一般読者にも充実した情報を幅広く提供する「粉体技術」誌を目指し活動する。読者の多様なニーズに対応するために、コラムなどの技術記事以外の内容をさらに充実させ、魅力ある粉体技術誌の編集を進めていく。粉体工学会誌との連携を深め、粉体業界の底上げに貢献するとともに業界内の交流の場、粉体工学のすそ野を広げる場としても「粉体技術」誌を活用していただけるよう知恵を絞り編集に取り組む。

月号	特集
4月号	協会を支える分科会
5月号	DX 推進
6月号	海洋資源と粉体技術
7月号	乾式集じん技術の規格化・標準化とその周辺技術(集じん分科会)
8月号	多角化戦略の成功例
9月号	農薬製剤技術
10月号	次世代半導体を支える粉体技術
11月号	二酸化炭素を資源に
12月号	香りと粉体
1月号	粉の大きさと光(色)(仮)
2月号	造粒分科会(仮)
3月号	POWTEX2026 特集

4.5 推薦審査委員会 (山田幸良委員長、松島徹副委員長)

委員会開催予定:3回

活動:2025年度に準じ、年3回の会合で、各賞の表彰規定に則って、審査業務を実施していく。

4.6 粉体工業展委員会 (角井寿雄委員長、芦澤直太郎、原喜宣各副委員長)

委員会開催予定:東京/大阪粉体工業展委員会の開催時に併せ必要に応じて開催する。

- 1) POWTEX®2026—第46回国際粉体工業展開催
- 2) POWTEX®2027—第47回国際粉体工業展開催準備
- 3) 海外交流委員会と協力し、海外の主要粉体工業展において広報・宣伝を行う。
- 4) POWTEX®2028～検討会開催
- 5) POWTEX NEXT(仮称)勉強会の進捗報告を確認する。

4.6.1 東京粉体工業展委員会 (芦澤直太郎委員長、谷本 秀斗、森山秀男、村上徹各副委員長)

委員会開催:本委員会4回、正副委員長会議を本委員会の各回に先行して開催する。
各小委員会を開催する(広報3回、会場運営1回、粉体技術総覧2回、併催行事1回)。
POWTEX®2026 の円滑な実施に向け、各種企画や運営体制の検討、進捗確認を行い、開催当日までの準備を着実に推進する。開催後は反省会を実施し、次回に向けた改善点を整理する。

4.6.2 大阪粉体工業展委員会(原喜宣委員長、池田憲俊、貝島健太各副委員長)

委員会開催予定:本委員会3~4回、小委員会(必要に応じて出展促進委員会等を開催する)
POWTEX®2025 の反省を踏まえ、次回「POWTEX®2027」の開催に向けての準備を行う。

主たる課題は以下のとおり。

- ①ハイブリッド方式、オンライン展示会の改善
- ②PX ステーションの改善
- ③イチオシ!の改善
- ④出展促進
- ⑤来場者増加
- ⑥併催行事数とスケジュールの検討
- ⑦効果的な広報の検討
- ⑧運営面の改善
- ⑨その他、反省会での指摘事項の検討、改善

4.7 分科会運営委員会(奥山喜久夫委員長、鈴木康夫、松坂修二各副委員長)

委員会開催予定:本委員会4回、分科会相談会1回、小委員会は必要に応じ開催

- 1)分科会活動が将来に向かって順調に発展するように議論を進める。分科会開催や、人事体制の改善が必要な場合は、分科会と協力して、組織および運営の充実化を進める。
- 2)将来必要となる粉体技術などについて議論し、必要に応じ新しい分科会の立ち上げや統合などについて議論する。
- 3)分科会開催はオンサイト開催を軸とし、webやハイブリッド開催なども検討し参加者の便宜をはかる。また会員同士の交流に有効な、分科会に併せた交流会開催も推進する。

4.8 海外交流委員会(田辺大二委員長、國枝純、加藤寿紀各副委員長)

委員会開催予定:本委員会2回

- 1) 海外情報セミナー(POWTEX®2026併催行事) 2026年11月26日(木)開催予定
医薬関連について日本・アジア・欧州からの各1名、計3名による講演を企画、開催予定である。
- 2) 海外展示会
下記展示会について相互協力予定である。
 - KOREA CHEM 2026 韓国・ソウル近郊 2026.3.31(火)-4.3(金)ブース出展予定
 - IPB 2026 中国・上海 2026.7.22(水)-24(金)ブース出展および共同出展実施予定
 - A-Powder Tech 2026 韓国・ソウル近郊 2026.9.2(水)-4(金)バナー・広告掲載予定
 - POWTECH TECHNOPHARM 2026 ドイツ・ニュルンベルク 2026.9.29(火)-10.1(木)ブース出展および共同出展実施予定

4.9 人材育成委員会(荻田容宏委員長、丹野秀昭、延近尚子各副委員長)

委員会開催予定:委員会4回および若手のつどい3回

- 1)第1回若手のつどいは、(株)マツシマメジャテックを訪問予定
- 2)POWTEX®2026 国際粉体工業展東京で「学生ツアー」を実施予定

4.10 標準粉体委員会(後藤邦彰委員長、高橋かより副委員長)

委員会開催予定:本委員会2回

- 1)JIS 粒子径測定装置検定用粒子 MBP3-30 の製造および標準物質認証書の作成
- 2)JIS Z 8901 標準粉体1ラウンドロビンテスト
- 3)SAP 試験用粉体のJIS化の検討
- 4)JIS 試験用粉体1-8種関東ローム相当品の件

4.11 規格委員会（松山達委員長、高橋かより副委員長）

委員会開催予定:2回

- 1) SAP、JIS、ISO の現状把握、協会規格や JIS の定期見直しの対応、JIS 原案作成検討、支援をする。
- 2) 協会 HP や「粉体技術」誌に新規制定規格などを紹介する。
- 3) 粒子特性評価に関する内容を講演テーマとして第 5 回標準化セミナーを計画している。2026 年度は小委員会を発足し検討予定。

4.11.1 粒子特性評価委員会（桜井博委員長、伊藤和輝副委員長）

委員会開催予定:委員会 2 回

2025 年度に引き続き、ISO/TC 24/SC 4 における ISO 規格文書作成等に取り組む。

4.11.2 ふるい委員会（松山達委員長）

委員会開催予定:委員会 1 回

2025 年度に引き続き、ISO/TC 24/SC 8 における ISO 規格文書作成等に取り組む。

・SC8 会議があれば、出席を計画。

・上記 SC8 会議以降の適当な時期に委員会を1回開催し、対応を協議する。

4.11.3 集じん技術委員会（福井国博委員長、森下あや子副委員長）

委員会開催予定:委員会 2 回、正副委員長会議 1 回

METI 公募事業(持続的・包括的標準化活動テーマ)の継続を申し出中。

引き続き ISO/PWI 25503(ろ布の静電特性試験方法)の新規プロジェクト(NP 投票)の承認を目指す。

4.11.4 JIS 原案作成委員会

4.11.4-1 2025 年度 JIS 原案作成委員会 1(綾信博委員長)

JIS Z 8829「液中分散粒子の粒子分布及び個数濃度解析 - 粒子軌跡解析(PTA)法」の改正

委員会開催予定:委員会 1 回、分科会 1 回

2026 年 5 月には原案を作成し、JSA 提出を目標とする。

4.11.4-2 2025 年度 JIS 原案作成委員会 2(桜井博委員長、栩野成視副委員長、船戸浩二副委員長)

ISO 19996「エアロゾル粒子の特性評価及び試験粒子発生のための電荷調整」の JIS 化(JIS Z8847)

委員会開催予定:委員会 1 回、分科会 1 回

2026 年 5 月には原案を作成し、JSA 提出を目標とする。

4.11.4-3 2025 年度 JIS 原案作成委員会 3(森隆昌委員長)

JIS Z 8823-1「液相遠心沈降法による粒子径分布の測定方法-第 1 部:一般原理、要求事項及び指針」の改正

委員会開催予定:委員会 2 回、分科会 3 回

2026 年 8 月には原案を完成し JSA 提出を目標とする。

4.11.4-4 2026 年度 JIS 原案作成委員会 1(山隈瑞樹委員長)

JIS Z 8817「可燃性粉じんの爆発圧力及び圧力上昇速度の測定方法」の改正

委員会開催予定:委員会 4 回、分科会 2 回

基本方針として、校正用粉体として石松子以外に使用可能な物質を追加するためのラウンドロビン試験を行う。また、用語の修正を行う。

4.11.4-5 2026 年度 JIS 原案作成委員会 2(山隈瑞樹委員長)

JISZ8818「可燃性粉じんの爆発下限濃度測定方法」の改正

委員会開催予定:委員会 4 回、分科会 2 回

現在の JIS では、測定装置として、落下式測定装置を標準とし、代替法として吹上げ式測定装置の二つを規定しているが、わが国独自の方法であり、海外規格との整合性に懸念がある。そこで、海外規格と整合する新規代替法の追加を行う。併せて、校正用粉体として石松子以外に使用可能な物質の検討を行う。

4.11.4-6 2026 年度 JIS 原案作成委員会 3(森康維委員長、高橋かより副委員長)

JIS Z 8828「粒子径解析—動的光散乱法」の改正

委員会開催予定:委員会 3 回、分科会 4 回

対応国際規格である ISO22412:2017 が 2024 年に改正されたこと受け、すでに商用化されている多角度測定手法やオンライン測定手法の他、イメージングプレートを用いた動的光散乱法などの技術進歩・拡張を含んだ内容を追加する。

4.12 粉じん爆発委員会（山隈瑞樹委員長、土橋律、太田潔各副委員長）

委員会開催予定:3回

1)安全教育:

- ・粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】 2026 年 9 月 2 日、3 日に実施予定。
- ・粉じん爆発・火災安全研修【中級/技術編】 2027 年 3 月に実施予定。

2)最新の規制、規格動向及び技術情報の把握:

WG-A: 粉じん危険場所分類検討

IEC 規格に基づく分類方法の具体的適用方法について検討し、粉じん爆発火災研修の新たな講義へ発展させる。

WG-B: 分散していた粉体関係の規格が NFPA660 に統合されたので、その内容を調査して勉強会で共有する。

3)POWTEX®2026 国際粉体工業展東京:粉じん爆発情報セミナーを計画

4)分科会等との連携:

各単位操作工程を専門的に検討している分科会との連携は有意義であるので要請に応じて今年度も実施していきたい。集じん技術委員会においては、バグフィルターろ布の国際規格作成に協力していく。

5)JIS 改正:JIS Z 8817 及び 8818 の改正を行う。

5. 分科会

5.1 粉体ハンドリング分科会

(松坂修二コーディネータ、河府賢治副コーディネータ、岸本武志代表幹事、鍋内浩副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.7.8	神奈川	計量と工場見学
2	2026.9.14-15	香川県	造粒と工場見学
3	2026.12	東京	技術講演と製品紹介
4	2027.3	未定	未定

幹事会開催予定 幹事会 計:4 回

中期の活動テーマ

- 1) 粉体ハンドリングをマテリアルハンドリングの範疇と捉え、取り組みの範囲を拡大する。
- 2) 粉体技術者養成講座および粉体技術専門講座の優先度を考えて企画・実践する。
- 3) 最近の粉体ハンドリング産業の技術力の変遷を把握し、将来展望を見据えた基盤技術や解決困難な技術的課題を抽出し、研究や勉強の場を企画する。

単年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) ニーズにマッチした年 4 回の対面型分科会本会合の開催を目指す。
- 2) 書籍『粉粒体ハンドリング技術』の販売促進を行う。
- 3) 年度内に養成講座 1 回の開催を実現すると共に、27 年度以降の養成講座・専門講座の定期開催に向けた検討に着手する。

5.2 粉砕分科会

(内藤牧男コーディネータ、加納純也副コーディネータ、石井利博代表幹事、森下隆広副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	テーマ
1	2026.7.1-7.2	新潟/旭カーボン(株)	見学・講演会
2	2027.3.9-3.10	台湾/国立台湾大学	日本・台湾ワークショップ

幹事会開催予定 計:5 回

中期の活動テーマ

- 1) 粉砕の重要技術、最新技術、ユーザの潜在的ニーズを分析して、これらを分科会のテーマとして取り上げ、メーカーとユーザとの交流を促進する充実した本会合を目指す。

- 2) 粉砕に関する産業界・学界の交流を通じて、粉砕技術に関する最新の情報を参加者に提供する。
- 3) 粉体技術者養成講座などを通じて、粉砕技術の教育、普及啓発に努める。
- 4) 粉砕技術に関する技術者再教育や国際交流のための企画を検討し実施する。

単年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 分科会は年2回開催する。
- 2) (一社)粉体工学会「機能性粉体プロセス研究会」並びに「粉体材料設計研究会」と共催行事を行い、産学の交流を図る。
- 3) 粉体技術者養成講座【粉砕】は、10月29～30日に(株)栗本鐵工所、粉体技術専門講座は、12月8日に東洋炭素(株)で開催予定である。
- 4) 国際交流は日本の粉体技術の海外への普及啓発、および国外ユーザとの交流という観点からも重要である。国際交流の場として、第2回分科会を台北(台湾)にて開催する予定である。

5.3 分級ふるい分け分科会

(吉田幹生コーディネータ、所千晴副コーディネータ、直原健司代表幹事、吉田友一副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.9.2	京都(同志社大学)	計画中(見学と講演会)
2	2026.10-12月	三重・四日市	計画中(見学と講演会)

幹事会開催予定 幹事会 計3回

中期の活動テーマ

- 1) 粉体材料の高機能化に向けた分離径制御技術
- 2) 粉粒体処理プロセス効率化のための分離技術
- 3) 分級ふるい分け装置のトラブルとその防止策
- 4) 分級ふるい分けに関する規格と標準化

単年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 分級、ふるい分け、またそれに関わるプロセス及び資源リサイクル関係の会合(2回)
- 2) ふるい網に関する規格、標準化の情報収集
- 3) 技術講座の開催に伴う内容検討
- 4) 幹事増員の検討
- 5) 分科会の名称検討

5.4 乾燥分科会

(立元雄治コーディネータ、中川究也副コーディネータ、佐藤澄人代表幹事、川上頼一副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.6.10	滋賀/テクノスマート	スラリー乾燥技術
2	2026.11月頃	未定	乾燥関連の講演会

幹事会予定:2~4回

中期活動テーマ

食品、医薬、化学、環境、バイオマス、廃棄物など、できるだけ興味を持てるテーマでの工場見学会、講演会を実施する。また、国内外の最新の乾燥技術・研究動向の報告講演会を開催し、国内への情報発信を継続実施していく。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 第1回分科会 見学・講演会
- 2) 第2回分科会 乾燥技術、装置関連の講演会
- 3) 粉体技術者養成講座

5.5 集じん分科会

(福井国博コーディネータ、野田直希副コーディネータ、中根隆一代表幹事、木嶋敬昌副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	5~8月	中部地方	火力発電の集じん技術
2	8~11月	未定	未定
3	11~2月	未定	未定

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 分科会活動は、各幹事の役割分担を明確にし、本会合を3回/年程度開催、粉体技術者養成講座の充実、専門講座を本中期に一回程度開催を企画検討し、一層の活性化を図る。
- 2) 集じん技術利用領域の拡大や様々な装置との合理的な組み合わせ等を目指し、他分科会との合同開催や他の学・協会との共催行事等を積極的に推進する。また、ユーザからの要望を積極的に調査する。
- 3) 集じん技術委員会の国際規格化推進への支援を継続推進する。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 分科会活動は、中期活動テーマに基づき、本会合を3回/年開催を企画する。他の分科会との合同開催、粉体工学会・研究会との共同開催などを積極的に行うとともに、本活動にて集じん機ユーザの要望調査を行う。
- 2) 粉体技術者養成講座は本年度も運営を継続する。開催場所は中部地方にて検討を行い、広く集じん技術を伝えることを可能とする。
- 3) 集じん技術委員会への支援を前中期に引き続き支援する。
- 4) 粉体技術専門講座の次年度開催に向けて実施要領案の検討を行う。

5.6 混合・成形分科会

(藤正督コーディネータ、森隆昌副コーディネータ、朝日正三代表幹事、島田英明副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.10.30	三重/太陽化学	加工食品に関する講演会と工場見学 (食品粉体技術分科会合同開催を予定)
2	2027.1月頃	関東	未定

幹事会開催予定:幹事会:3回

中期活動テーマ

- 1)粉体の混合・混練・成形に係わる『温故知新』と『最新技術』をテーマに、最先端事業への取り組みや技術の伝承などについての情報提供の場となるような、工場見学会や講演会を計画する。
- 2)IoTやAIを活用した自動化システムが、混合・混練・成形の最先端技術にどう反映されているか注目していく。
- 3)粉体技術者養成講座を通じた教育にも注力していく。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1)混練・成形に関わる加工技術の情報を発信できるような講演会、見学会を企画する。
- 2)粉体技術者養成講座は引き続き実施する。
- 3)幹事の増員(できればユーザー企業の幹事)。

5.7 造粒分科会

(村瀬和典コーディネータ、仲村英也副コーディネータ、杉本宰代表幹事、石井隆司副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.06.24-25	大阪	技術実習会
2	2027.03.05	関東	技術討論会

幹事会開催予定:4回

中期活動テーマ

- 1)会員が業務上で取得したい情報の提供。ユーザーニーズとそのシーズとなりうる産側の技術開発成果および学側の学術研究成果を有効に繋げる。
- 2)造粒による有用な複合材料の創生アプリケーションと様々な最新、ユニークな造粒技術、造粒装置の紹介

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1)技術実習会の実施
噴霧・流動層・攪拌・押出・転動 の5種類の造粒手法について、原理説明・実演・簡易実習を実施。
- 2)技術討論会「粒子の物性をコントロールする造粒技術」詳細テーマは今後決定。

5.8 計装測定分科会

(後藤邦彰コーディネータ、武居昌宏副コーディネータ、池田英幸代表幹事、稲山良介副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.6月	未定	見学会・講演会

2	2026.9月	オンライン	技術者養成講座
3	2026.12月	東京	3D計測

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 前中期から引き続き「ナノ粒子・バイオ粒子・エアロゾル計測を含む新しい粉体測定技術、および、AI、IoTに対応するオンライン・インラインプロセス計測技術の探求と信頼性」をテーマとする。
- 2) 粉体技術者養成講座を通じた、前処理を含めた正しい粉体測定機器の使用法や、測定結果の解析、利用法紹介など、粉体計測・測定技術の普及・啓蒙活動もテーマとする。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1)他の単位操作と計測を組み合わせた講演会・見学会。単位操作系分科会との合同開催も検討
- 2)オンラインによる粉体技術者養成講座
- 3)3Dイメージングに関する講演会

5.9 湿式プロセス分科会

(菰田悦之コーディネータ、片桐誠之副コーディネータ、浅見圭一代表幹事、宮本圭介、西川明良各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.6.10	野洲市	塗工と乾燥
2	2026.秋	四日市市	カーボンブラックについて

幹事会開催予定:2~3回

中期活動テーマ

中期活動テーマ:前の3年間に引き続き、以下の2大テーマに関する分科会活動を行う。

- 1) 各種プロセスにおける固液分離
- 2) 微粒子の凝集・分散状態の制御とその応用

今年度の事業計画の概要と運営方針

中期活動テーマ:前の3年間に引き続き、以下の2大テーマに関する分科会活動を行う。

- 1) 各種プロセスにおける固液分離
- 2) 微粒子の凝集・分散状態の制御とその応用

5.10 クリーン化分科会

(並木則和コーディネータ、鍵直樹副コーディネータ、谷英明代表幹事、神谷松雄副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.8月頃	未定	未定
2	2026.11月頃	未定	未定

幹事会開催予定:5回

中期活動テーマ

- 1) 国内の半導体産業の再興を支える最新のクリーン化技術に関する動向調査。
- 2) 成長産業である医薬・再生医療分野から、安心・安全・快適な生活空間の確保 (PM2.5 や病原性粒子対策など)に至るまで、対象分野を拡大した活動を継続。
- 3) 他の分科会や学会・協会との連携強化。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 中期計画に則った、見学会および講演会を企画して実施する。
- 2) 過去の知見から最新技術に至るまで、クリーン化に関する基本技術を伝承できる場を提供する。
- 3) 合同分科会の開催に向けた協議、調整を進める。

5.11 環境エネルギー・流動化分科会

(成瀬一郎コーディネータ、小林信介副コーディネータ、細田博之代表幹事、長洋光副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.6月頃	長野・新潟	バイオマス関連施設の見学
2	2026.9月頃	滋賀	DX関連の講演会、見学会
3	2026.11月頃	愛知	バイオマスもしくはCCUS関連施設の見学会

幹事会開催予定:幹事会 3回

中期活動テーマ

- 1) 流動層技術の更なる応用・展開事例をリサーチし発信する
- 2) 再生可能エネルギー利用の最先端技術を紹介する
- 3) 新しい環境づくり、新しい社会の創生への筋道を「環境エネルギー」というキーワードと共に、本分科会活動を通して学習し、発信する

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 粉体技術としての流動層適用事例の見学または講演
- 2) 再生可能エネルギー(木質バイオマス、廃棄物系バイオマス)利用の最先端技術の学習
- 3) 環境・エネルギー関連の講演会または見学会

5.12 晶析分科会

(白川善幸コーディネータ、正岡功士各副コーディネータ、伊藤雅章代表幹事、日置賢副代表幹事)

回	予定時期	予定地域	主テーマ
1	2026.7月	府中	ものづくり(品質)へのこだわり
2	2026.11月	川崎	新たな知の創造と交流
3	2027.3月	香川	人と海を技術でつなぐ

幹事会開催予定:5回

中期活動テーマ

- 1) 国際的な最先端の技術情報の発信
- 2) 他の分科会、研究グループとの技術交流
- 3) 核発生現象のその場観察技術

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 講演会+見学会
- 2) ものづくり(品質)へのこだわり
- 3) 人と技術の交流

5.13 微粒子ナノテクノロジー分科会

(渡邊哲コーディネータ、飯島志行副コーディネータ、池田純子代表幹事、大原勝義、菊川結希子各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.6.16	大阪/ホソカワミクロン	PLGA ナノ粒子のプロセスと応用
2	2026.11月 or12月	神奈川/島津製作所	ナノ構造・ナノ界面をどう測るか — マルチモーダル分析の可能性 —(仮)
3	未定	三重/三菱ケミカル	電池用カーボンにおけるナノ構造制御と製造プロセス技術(仮)

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 産業レベルでの微粒子・ナノ粒子の有効な利用技術、プロセス技術、量産技術及び応用例、および安全性に関連する事項についての最新情報の収集とその発信。
- 2) 技術発展が著しい中国や欧州など海外での微粒子・ナノ粒子関連技術の情報収集とその発信
- 3) 若手技術者の知識向上を主眼とした微粒子・ナノ粒子に関する基礎的情報の発信

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) ナノ粒子・ナノ構造材料を対象に、「プロセス—構造—機能」の関係を共通軸とした分科会活動を実施し、分野横断的なナノテクノロジー理解の深化を図る。
- 2) 企業の研究開発・製造現場での開催および他分科会との合同開催を通じ、実践的知見の共有と相乗効果の創出を推進する。
- 3) テーマの明確化と運営効率化により、限られた人的リソース下でも継続可能で参加価値の高い分科会運営を行う。

5.14 電池製造技術分科会

(倉谷健太郎コーディネータ、駒場慎一副コーディネータ、堀越勝代表幹事、尾崎哲也、木村正人各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.06.25	堀場製作所	全固体電池

2	2026.10.15	東京地区	定置型蓄電池
3	2027.02.25	大阪地区	未定

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1)全固体電池などの次世代EV用電池の開発状況と材料技術についての情報収集
- 2)ポストLIB電池として実用化を目指す革新的二次電池と材料技術についての情報収集
- 3)定置用蓄電池の新技術開発と蓄電池のリユース・リサイクル技術についての情報収集
- 4)商用車や船舶、飛行機などに使われる水素・燃料電池とその材料技術についての情報収集

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1)全固体電池や水系電池の材料技術と新規製造技術に関する情報収集
- 2)定置用蓄電池の国内外の技術開発/市場動向に関する情報収集
- 3)蓄電池のリユース・リサイクル技術および安全性評価技術に関する情報収集

5.15 リサイクル技術分科会

(外川健一コーディネータ、伊藤真由美副コーディネータ、齊藤陽代表幹事、水野裕太副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.7月	苫小牧	貴金属・LIBリサイクル工場 講演・見学会
2	2026.10月	韓国/釜山	非鉄リサイクル企業見学
3	2027.3月	御前崎	プラスチックリサイクル工場見学

幹事会開催予定:5回

中期活動テーマ

- 1) 低炭素社会を実現するリサイクル技術 (廃プラスチック関連 他)
- 2) AI, IoTを含めた廃棄物処理に関する新規技術のピックアップ
- 3) 非鉄・貴金属リサイクル・資源循環社会における最新技術の調査

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 資源循環社会の最も重要である金属リサイクル技術の状況と今後の最新技術(AI搭載等)を学ぶ
- 2) 海外のリサイクル企業を現地調査し、国内リサイクル情勢・技術と比較する
- 3) 国際問題となっている廃プラスチックの再生技術とリサイクル工場を見学し、SDGs への展開を学ぶ

5.16 食品粉体技術分科会

(羽倉義雄コーディネータ、五月女格副コーディネータ、二宮隆志代表幹事、西村元樹副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.6.24	新潟	世界に向けた発酵技術革新
2	2026.10.30	三重	計画中(食品加工における混練造粒、成形技術)
3	2027.2月頃	千葉	計画中(マイクロ波・電磁波加熱、解凍技術)

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1)食品製造の基盤となる『安全・安心』をメインテーマとする。
- 2)『食品衛生技術の向上』、『食品加工の高度化・複合化』、『食品製造プロセスの自動化』、『環境を配慮した食品製造』および『ロボット、AI、IoT等のデジタル技術活用』などをサブテーマとする。

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 中期活動テーマに沿って、食品工場の見学の他講演会や他分科会との共同開催などを通じ、食品に関わる新しい情報、技術を習得できる活動を行う。
- 2) 単位操作技術についての「基礎」と「最新動向」だけではなく、『ロボット、AI、IoT等のデジタル技術活用』など、自動化や環境などにも焦点をあてた分科会活動を行う。

5.17 粒子加工技術分科会

(山本浩充コーディネータ、田原耕平副コーディネータ、根本源太郎代表幹事、伊藤有一、中村俊郎各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026年6月	埼玉	武州製薬様にて見学講演会
2	2026年10月	和歌山	花王様にて見学講演会
3	2027年2月	徳島	大鵬薬品工業様にて見学講演会

幹事会開催予定:4回

中期活動テーマ

製剤の機能化、プロセスの効率化等を目的とする粒子加工技術の向上

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 粒子加工技術及び医薬品製剤などに関する講演会・・・年3回
- 2) 製剤と粒子設計シンポジウムを粉体工学会の部会と共催し、各種粒子関連技術の交流を促進する
- 3) 粉体技術者養成講座(教育部門)開講・・・年1回

5.18 粉体シミュレーション技術利用分科会

(酒井幹夫コーディネータ、石神徹副コーディネータ、島田憲成代表幹事、小澤和三副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.5.8	東京	粉体シミュレーション国際シンポジウム
2	2026.11.25	東京	粉体工業展
3	未定	千葉	合同分科会(食品粉体技術分科会と検討中)

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 産学連携活動を通じたより実践的なシミュレーション技術の開発と産業利用の推進
- 2) 粉体シミュレーションの技術者育成
- 3) 最新のデータサイエンスやデジタル技術を組み合わせたより効果的なシミュレーションの活用方法の研究

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 粉体シミュレーションの新しい適用領域の検討、合同分科会の実施
- 2) 粉体シミュレーションの技術者育成のための講習会の実施
- 3) 国内外のデータサイエンスの最新成果の情報収集と産業界への展開

5.19 粒子積層技術分科会

(山村方人コーディネータ、瀬戸章文副コーディネータ、中尾修也代表幹事、中村圭太郎副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.7月	未定	未定
2	2027.2月	未定	未定

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 湿式および乾式粒子積層プロセス技術の応用例と課題に関する最新情報の収集と発信
- 2) 粒子積層技術の工学的体系化を指向した情報収集とその発信
- 3) 粒子積層状態及び積層過程の評価、粒子集積(配列制御)に関する情報収集と発信

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 湿式および乾式粒子積層プロセス技術の応用例と最新情報の収集と見学会、講演会の開催
- 2) 粒子積層技術の工学的体系化を指向した情報収集及び講演会の開催
- 3) 粒子積層状態及び積層過程の評価、粒子集積(配列制御)に関する情報収集と講演会の開催

5.20 バイオ粒子プロセス分科会

(野村俊之コーディネータ、荻崇副コーディネータ、片山和彦代表幹事、秋山聡副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2026.6.16	大阪	PLGA ナノ粒子のプロセスと応用(仮)
2	2026.11.16	横浜	バイオサンプラー(仮)

幹事会開催予定:3回

中期活動テーマ

- 1) 医薬・食品等の製造プロセスから資源循環、環境浄化、クリーン化まで幅広い分野において、バイオ粒子が関わる課題や技術に関する最新情報の収集と発信
- 2) バイオ粒子が関わる諸現象や各種技術の微粒子工学的視点からの体系化

今年度の事業計画の概要と運営方針

- 1) 第1回分科会:見学会・講演会を開催(微粒子ナノテクノロジー分科会と合同)
- 2) 第2回分科会:見学会・講演会を開催(クリーン化分科会と合同)

6. 粉体工業技術センター（角井寿雄センター長、前田孝善副センター長）

6.1 教育部門（松坂修二マネジャー、白川善幸副マネジャー）

委員会開催予定:本委員会1回

粉体入門セミナーは、参加者の基礎知識が大きく異なるので、講義の理解度や参加者の意見を受講者アンケートで確認し、工夫していく。基本的には、初心者への参加を考慮して計画する。新設する粉体基礎講座は、粉体入門セミナーⅠ（粉体の性質）の内容をさらに深めた講座とする。粉体技術者養成講座は、開催時の状況を判断して、より良い講座となるよう努めていく。粉体技術専門講座は、毎年2、3回の開催が望ましく、各分科会に協力をお願いする。アドホックセミナー、経営講座、特別講座は、案が出された時点で対応していく。

講座名とタイトル	開催日	開催場所	募集人数	
粉体入門セミナーⅠ（第77回）	2026.6.3～4	大阪/KITENA 新大阪	70	
粉体入門セミナーⅡ（第78回）	2026.6.17～18	大阪/KITENA 新大阪	70	
粉体入門セミナーⅢ（第79回）	2026.7.1～2	大阪/KITENA 新大阪	70	
粉体基礎講座（第1回）	2026.7.27～28	東京/アーバンネット神田カンファレンス	50	
粉体技術者養成講座	粉体ハンドリング	2026.8.3～4	名古屋/(株)ナノシーズ	12
	混練	2026.10.9	未定	12
	乾燥	2026.10.15～16	千葉/月島ホールディングス(株)R&Dセンター	12
	粉砕	2026.10.29～30	大阪/(株)栗本鐵工所	18
	粒子加工	2026.11.5～6	兵庫/(株)パウレック	10
	集じん	2026.12.4～5	名古屋/ウインクあいち	20
	ろ過	2027.1.18～19	大阪/タナベウィルテック(株)	12
第74回粉体技術専門講座（粉砕分科会）	2026.12.8	大阪/東洋炭素(株)	60	
粉じん爆発・火災安全研修 [初級・基礎編]	2026.9.2～3	ハイブリッド研修 東京/種苗会館6階より配信	定員なし	

6.2 製造事業部門（前田孝善マネジャー）

委員会開催予定:必要に応じ開催する

- 1) 標準粉体委員会と連携して、MBP3-30の認証書作成のサポートをする
- 2) 2026年度予算計画

協会事業の一環として運営されているJIS試験用粉体・APPIE標準粉体の頒布事業が、各産業界の発展に貢献できるよう今後も業務効率化を図りながら、事業を進めていく。

収支計画: (単位:千円)

	2026年度予算
売上	92,000
(売上前年度実績比%)	99.5
事業費(支出)	67,150
収支差	24,850
(収支差前年度実績比%)	100.0

6.3 産学技術交流推進部門（後藤邦彰マネジャー、山本浩充副マネジャー）

委員会開催予定:3回

- 1) 技術相談

引き続き、講演会、セミナー、展示会でDM配布をする。年間15件をめざす。

- 2) APPIE産学官連携フェア

国際粉体工業展大阪の併催行事で、隔年開催のため、2026年度は開催なし。

3) テクノマルシェ～シーズとニーズの交流会～

講座名	開催日	講演場所
テクノマルシェ～シーズとニーズの交流会～	2026.11.26(予定)	東京/東京ビッグサイト

POWTEX®2026 の併催行事として、開催を予定。

4) 粉体技術セミナー

・PX シーズ賞受賞記念特別講演会

APPIE 産学官連携フェア 2025 の PX シーズ賞受賞者による講演会を、POWTEX®2026 の併催行事として開催を予定。

7. 技術情報交流懇話会

7.1 火曜会： 東京にて 4 回開催

4 月 14 日、7 月 14 日、10 月 13 日、2027 年 1 月 19 日

7.2 水曜会： 名古屋にて 3 回開催

6 月 17 日、10 月 28 日、2027 年 2 月 17 日

7.3 木曜会： 大阪にて 2 回 開催

5 月 14 日、9 月 10 日、12 月 10 日

7.4 金曜会： 福岡にて 2 回、広島で 1 回開催

7 月 3 日、12 月 4 日(広島)、2027 年 3 月 5 日

8. 共催・協賛及び後援行事

8.1 共催

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第1回 中部食品産業創造展'26	2026.11.4 ～11.6	名古屋/ポートメッセなごや	(株)日刊工業新聞社

8.2 協賛

行事名	開催日	開催場所	主催団体
産学人材育成パートナーシップ®事業	2026.4 月 ～2027.2 月	東京・千葉・オンライン	(公社)化学工学会
空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	2026.4.21 ～4.22	東京/早稲田大学国際会議場	(公社)日本空気清浄協会
界面コロイドラーニング-第 42 回現代コロイド・界面化学基礎講座-	東京:2026.5.28 ～5.29 大阪:2026.7.16 ～7.17	東京:同志社大学東京 オフィス 大阪:大阪産業創造館	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
FOOMA JAPAN2026	2026.6.2 ～6.5	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本食品機械工業会
色材セミナー2026	2026.6.10	オンライン開催	(一社)色材協会
先端技術を支える単位操作シリーズ	2026.6.12	大阪/大阪科学技術センター	(公社)化学工学会関西支部
第 23 回技術講演会	2026. 7.16 ～ 7.17	神戸国際会議場	新製剤技術とエンジニアリングを考える会

9. 刊行物

9.1 「粉体技術」

編集 (一社)日本粉体工業技術協会 「粉体技術」編集委員会

発行 (一社)日本粉体工業技術協会

月刊誌 (1,500 円・税別) (A4 版 約 100 ページ 約 1,500 部/月)

- 9.2 日本粉体工業技術協会 事業案内(和文 2026 年度版) A4 版 16 ページ
編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行:2026 年 8 月頃(400 部)
- 9.3 日本粉体工業技術協会 事業案内(英文 2026-2027 年度版) A4 版 12 ページ
編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行:2026 年 8 月頃(100 部)
- 9.4 粉体技術総覧 2026/2027 A4 版 約 300 ページ
編集/発行所:一般社団法人日本粉体工業技術協会
発行予定数:2026 年 11 月 (14,000 部)
- 9.5 日本粉体工業技術協会開催の各種セミナー・講習会と教育部門の講座用テキスト
編集/発行所(一社)日本粉体工業技術協会 教育部門他
発行:各 20~100 部